

もくじ

- ・ ネズミとゾウ

ネズミとゾウ

げんさく せかい むかしばなし
原作： 世界の昔話

イラスト： ちひろ

へんしゅう
編集： YellowBirdProject

3

ある日、一匹のネズミが、一枚の鏡を拾い、
巣穴に持ち帰りました。この鏡は『魔法の鏡』と
いい、そこに自分の姿を映したものは、みな強くな
ったと思いつま魔法にかかってしまうのです。
鏡に映った自分を見たネズミは、すぐにその
魔法にかかってしまいました。

「オレは世界で一番強い動物だ！」

ネズミはそうさげぶと、巣穴を飛び出してい
きました。



5

「さあこい！ どんなやつでも相手^{あいて}になってやる！」

ネズミはえらそうにふんぞり返^{かえ}って歩^{ある}いていきました。

しばらくいくと、木陰^{こかげ}で休^{やす}んでいた、野^のネズミのおばあさんが話^{はな}しかけてきました。

「これ、そこの坊^{ぼう}や。えらそうに道^{みち}の真^まん中^{なか}を歩^{ある}いているけど、それでもしゾウに出^{であ}会^{たい}ったら、大^{たい}変^{へん}な目^めにあうよ」

「ゾウ？ ゾウってなんだい？」

「ゾウは、世界^{せかい}で一番^{いちばん}大^{おお}きくて強^{つよ}い動物^{どうぶつ}さ」

「なんだって！ オレ^{ほう}の方がゾウなんかよりず^{つよ}っと強^{つよ}いぞ。よし、そのゾウ^{しょうぶ}ってやつと勝負^{しょうぶ}してやる！」

